

キャラクター名
ネルソン・アイビーキャップ

プレイヤー名

シンドローム	バロール ウロボロス		ワークス	探偵	カヴァー	ネゴシエーター
	オプション		年齢	30代	性別	男
覚醒	無知	衝動	恐怖	初期侵食率	32 %	
出自	天涯孤独	経験	犯罪	邂逅	フェルナンド・フランコ	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	1	0			5	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:	2		芸術:			知識:			情報:	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
[64] 傍らに立つ影/シャドウバディ	P	N		
ギルド	P 慕情	N 無関心		
ヒトカゲ	P 親近感	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	-	-	
効果: 【精神】判定に置換可能、1回/1R								
シャドースクラッチ	5	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: 「無業の影」組み合わせ時、攻撃力+Lv×2								
猛り喰らうもの	1	3	メジャー	-	単体	対決	-	
効果: 「無形の影」「シャドースクラッチ」組み合わせ時、攻撃力+3D、1回/1シーン								
紡ぎの魔眼	3	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 判定+LvD								
悪魔の影	1	5	メジャー	視界	単体	対決	80%	
効果: 組み合わせ攻撃によるHPダメージ0に、命中時対象は次リアクション不可								
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果: C値-Lv								
原初の赤:トラップスライム	2	4	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果: 命中時、硬直付与、Lv回/1シーン								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

社会の裏側でほくそ笑む己の在り方を悦とするギルド所属のエージェント。本来の仕事は、ギルドのメッセンジャー役として「ヒトカゲ」と呼ばれる影を全国に飛ばし、フェルナンドからの指示を各所に伝え回っている。トレンチコートに身を包み、帽子を目深に被って肌と顔を隠すその姿は、含みを持たせるシニカルな口ぶりや彼の自助努力も相まって、スパイ映画に登場するメッセンジャーとしていかにもな人物だと言える。しかしながら、一介のメッセンジャーでも、幕間に登場するネゴシエーターや情報屋でもない、裏の世界で表立って戦うオーヴァードとしての資質が求められた際の彼は、少々毛色が違う。

自由自在に影を操る彼の力は戦闘面にも生かされる。柄じゃないんだが口では言いながらも、いざ任務ともなれば、万物について回る自身の「影」によって絶望に染まるオーヴァードやジャームの相貌を眺め、決め台詞を吐きながらノリノリで考えた必殺技名を添えてエフェクトを繰り出している。具体的には

蜘蛛の巣にかかったモンシロチョウのように自らの影に足を取られて闇に溺れていく「影縫い」
無造作に開いたチャックを勢いよく締め上げられるかように成す術もなく闇の狭間に吞まれていく「影結び」
無垢な子供たちに翻弄される凡夫のように「ヒトカゲ」たちによって四肢をがれ、必殺を必中たらしめられる「影遊び」

などなど。察しのいい読者にはすでにお分かりであろうが、裏社会の住人である彼はスパイ映画やライトノベルの裏の世界で名を馳せるクール系キャラに心底憧れているのである。幼い頃からの夢を実現させたのか、現在の情勢に酔っているのかはわからない。しかしながら、ワークス&カパーの二重生活やギルドと呼ばれる創作世界にありがちな犯罪連盟、レネゲイドウィルスやオーヴァードといった奇天烈設定をその世界の住人にして最も楽しんでいる人物の一人であることは間違いない。今日もまた彼は、裏路地でメッセージのやりとりをした後に、やれやれと呟きながらも己の影とその口元を楽しみげに歪ませる。